

第4章

【学力向上検証改善サイクルの学校化による取組】実践例



八嘉っ子 学力向上プラン ～玉名市立八嘉小学校～



年間を見通した学力向上プランを作成し、取組を可視化することで、全職員での実践につなげる。

【結果分析】
各学年の結果をもとに、これまでの成果と課題を分析し、今年度の目標や対策、取組の方向性を全職員で共有する。

昨年度の課題		今年度の目標				目標の達成指標		
①学習に受け身的な児童が多い。 ②学び合いの充実に向けたスキルの向上。 ③考えを広げ、深め合う授業づくり		①意欲を喚起し、主体性を高める学習の展開 ②対話を通して、考えを深め合う授業の充実 ③学習規律の徹底と家庭学習の習慣化及び充実				①県学力・学習状況調査で全学年県平均以上、学力値で昨年度を上回る。 ②県学力・学習状況調査アンケートの自己肯定感「他者価値」及び社会性「自分の意見を主張できる」の向上		
＜テーマ研＞ ○「熊本の学び」の推進による授業の改善 ○対話の質の向上 ○自分の思いや考えを豊かに伝え合う児童の育成	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	めざす授業像及び児童の学びの姿における検証と修正（授業実践と参観交流） 【課題設定場面】の充実 → 【対話を通じた学び合いの場面】の充実					県学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善 結果から教科指導のポイントを再確認 ねらいを明確にした授業の工夫・改善・充実		
	＜学びづくり部＞ 「共感して聴く力」と「考えをつなぎながら話す力」のスキルの向上 （うなずき等の反応を示す）（つなぎ言葉を使って互いの考えを交流する）					年間反省と次年度に向けた計画		
	＜3年＞研究授業 【読書月間】 ＜5年＞研究授業 							

【授業改善】
県学力・学習状況調査の結果を踏まえ、教科指導のポイントを再確認し、ねらいを明確にした授業の工夫・改善・充実を図る。



【復習プリントの活用】

- ・学級全体として、特に課題となる内容に取り組む。
- ・個人の課題となる内容を、自主学習等で取り組む。
- ・休校中の課題として、家庭で取り組む。

【個人票返却時の面談】

習得できていることや課題等を児童と一緒に確認し、良かった点を褒めながら、今後の学習に向けてアドバイスを行う。